

# はなれていても

泉初男さん（長泥 福島県福島市在住）



長泥の草刈りは皆本気だよ。30人位集まって、トラクターも10台ほど出て地域の手入れをやっている。我が家は解体してしまっ

たが、トラクターなど重機を入れる小屋を自分で建てた。重機のオペレーターをしていたから、県内各地で仕事をし、村の道路も随分つくった。だからね、

村はそっくり庭のようだと今でも思っているよ。全村避難では、旧松川小仮設住宅に、末の娘夫婦と隣同士で入った。松川は地元の人もいい人ばかり。仮設の管理人さんも一生懸命で、本当によくやってもらったよ。私も自治会の役をやったが、仮設の住民も皆草刈り、ゴミ拾いに出て

来てくれて、団体生活を頑張っていた。焼肉や流しそうめんなんかもやったな。行政区も、区長さんを中心に、離れ離れになってもまとまってやってきた。役場や関係団体の協力もあつてのことだ。避難指示解除は、「二かやり直し」の始まりだ。もともと末の娘が面倒を見るようになっていた。今、今は娘夫婦とその孫3人と暮らしている。それでも3日に1度は長泥に行き、敷地の草を刈ったりしている。家も何も無いんだけど、そこで大きく深呼吸をするんだよ。399号線の道路の端にあるので、停めた車を見つけて、通りかかった人が寄って行く。部落の人間と話し込むのが一番いいよな。笑い事を語るんだ。村は人と人が近い。他ではそうはいかないよ。

交流センター「ふれ愛館」だより

おすすめ図書を紹介しします

村民の方からのリクエスト本です

図書名…女の子はどう生きるか  
著者名…上野千鶴子  
岩波ジュニア新書

## 地域おこし協力隊 いいたてDIARY ダイアリー



皆さん、こんにちは。  
協力隊2年目に入りました、松尾洋輝です。  
最近では、「図図倉庫(ずっとそうこ)」でカフェがオープンし、僕はそこで、コーヒーを淹れるようになりました!

コーヒーは以前から大好きで、カフェでコーヒーを淹れるのはひとつの目標でもあったので、とても楽しいです。

営業日時はInstagramの方で発信中ですので、ぜひチェックしてみてください。  
→(@zuttsokoで検索)

「図図倉庫」自体はまだ内装工事中ですが、カフェは営業してますので、お時間ありましたら気軽にお立ち寄りください😊



今月のライター  
飯館村地域おこし協力隊  
松尾 洋輝さん



## おいしい飯館！ままでの食卓

生産者の皆さんにおいしい食べ方を聞いてみよう！



甘さを増す旬のミニトマトはまずはそのまま切らずにサラダがおすすめ

ミニトマトの巻



鈴木秀範さん  
(上飯種)

より甘くておいしいミニトマトを目指して水耕栽培自体は100年程の歴史があるそうですが、有機質肥料を使いながら水質を保てるこの技術は画期的です。三重県の農研機構が取り組んでいる栽培技術を学び、研究会の一員となってミニトマトを栽培しています。新しい技術ですので、養液の調整など試行錯誤を続け、より甘くておいしいミニトマトをつくりたいと日々取り組んでいます。 ※レシピは妻の美智子さんから



トマトソースにして  
シーズンオフまでおいしく



モzzarellaチーズと  
パルメザンソースでアップレゼ



チーズをのせてグリル

スティック状に切ったジャガイモとベーコンを炒め、カットしたミニトマト、ブロッコリー、チーズをのせてグリル。